

＜JIS マーク表示制度に関する解釈集＞

本解釈集は、認証指針 JIS の規定事項や技術的課題に係る運用解釈として定めたもので、JIS 認証における共通のガイドラインといたします。

医療安全用具② 乗車用ヘルメットに係る衝撃吸収性試験における帽体面上の試験範囲の設定方法について

2010 年 6 月 30 日

JIS 登録認証機関協議会

解 釈

本解釈は、JIS T8133 : 2007 の 7.4 衝撃吸収性試験において、人頭模型上の試験範囲と帽体面上の試験範囲との関係を明確にするために作成したものである。

ただし、2010 年 11 月 18 日までは衝撃吸収性試験は、社内規格等で規定された点以外を衝撃点の範囲として実施する場合がある。

1. 装着方法

人頭模型へのヘルメットの装着方法は、JIS T 8133 の附属書 A による。

2. 帽体外表面の試験範囲の設定方法

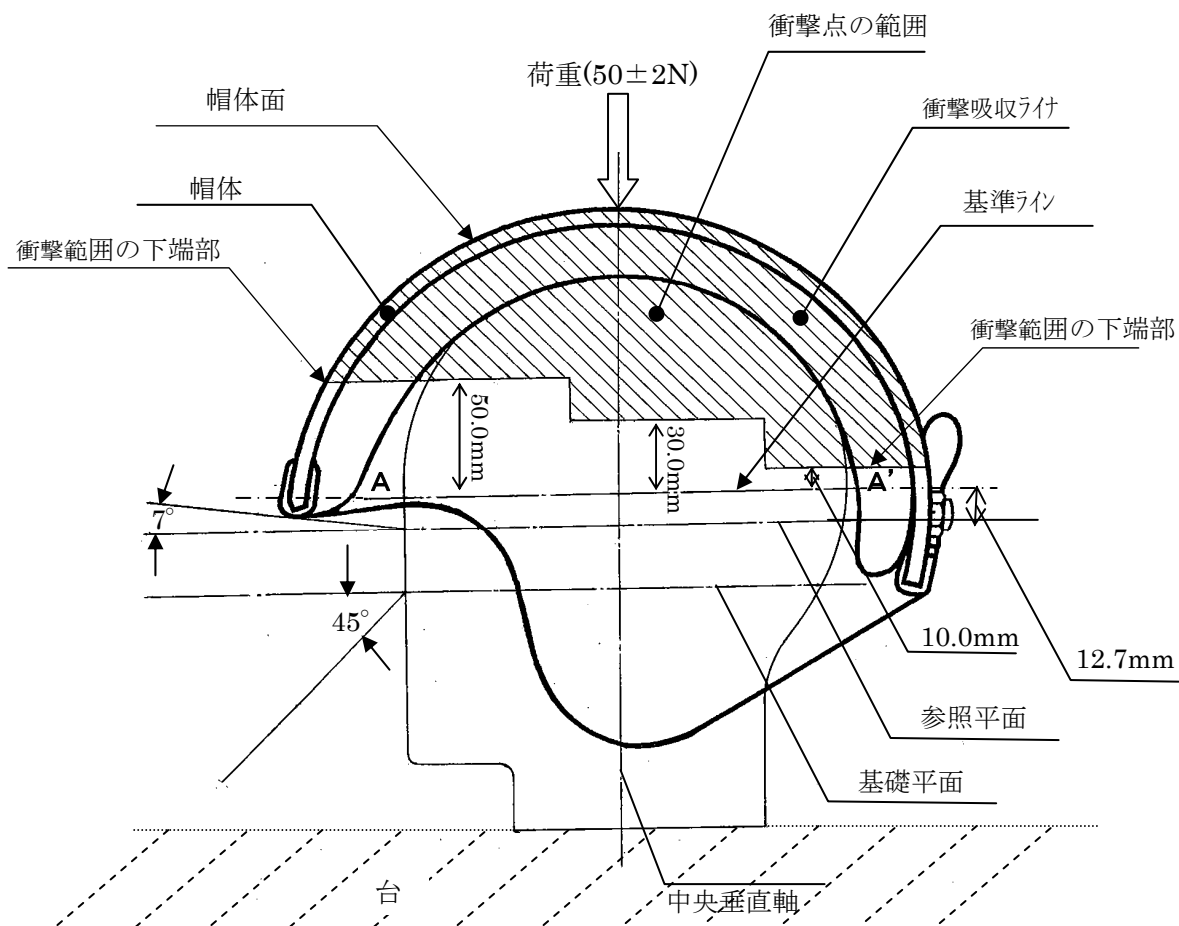
装着手順により求めたヘルメットの帽体面 AA' レベルの水平な線(基準ライン)を利用して、JIS 図 5 a) 1 種ヘルメットまたは b) 2 種ヘルメットに示す人頭模型上の試験範囲に対して、ヘルメットの帽体面上に水平に投射した線を引き設定する。(別紙図参照のこと)

3. 衝撃点の選定

衝撃点の選定は、2. により設定した試験範囲の任意の位置でよいが、次の事項に留意して行う。

- (1) アンビルの中心が、試験の範囲の下端部になるように選定する。
- (2) 構造上、試験結果(衝撃吸収加速度)が、大きくなると考えられる箇所を選定する。

以上



図一 衝撃吸収性試験の試験範囲の例
(2種オープンフェイス形)